

9月定例会における農林水産常任委員会の概要

- ◆ 10月3日（木） 開会 午前10時00分
（休憩 午前11時05分～午前11時13分）
閉会 午後 0時15分
- ◆ 10月4日（金） 開会 午前10時00分
（休憩 午前11時12分～午前11時20分）
閉会 午後 0時06分

（1）付託議案

議案番号	件名
議第117号	令和6年度山形県一般会計補正予算（第2号）中 所管分
議第127号	漁港事業に要する費用の一部負担について
議第128号	基幹水利施設ストックマネジメント事業等に要する費用の一部負担について
議第129号	河川内水利施設適正化事業等に要する費用の一部負担について
議第136号	山形県県民の森の指定管理者の指定について

（2）報告事項

農林水産部長

- ・農作物の生育概況等について
- ・7月25日から大雨被害の対応状況について
- ・令和6年度の農業の働き手確保に向けた取組状況について
- ・令和5年度県産農産物の輸出実績について
- ・「第4次山形県総合発展計画 実施計画（R2～R6）」の進捗状況について（令和5年度末時点）

（3）審査内容

議案の詳細について、担当課長から説明を聴取した後、議案に対する質疑と所管事項に関する質問を行った。

（4）採 決

付託された5議案については、全員異議なく、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定した。

(5) 主に議論された項目

- ◇ 7月25日からの大雨による農地・農業用施設の被害件数及び被害額について。また、復旧に当たっては、今後の降雪を踏まえ、迅速に取り組んでいくべきと考えるがどうか。
- ◇ 大雨による被害からの復旧及び営農の継続においては、本県生産者に対する十分な資金繰りの支援が必要であり、農業制度資金において償還期間の延長や融資枠の拡充等に取り組んでいくべきと考えるがどうか。
- ◇ やまがたフルーツ150周年に向けた取組状況及び情報発信の考え方について。また、来年の150周年を契機として、果樹生産者が持続的に営農できる環境づくりや支援が重要と考えるがどうか。
- ◇ 7月25日からの大雨により被災したカントリーエレベーターの復旧状況について。また、本格復旧に向けた、国の補助事業に係る自己負担部分への県の支援が必要と考えるがどうか。
- ◇ 県内の製材工場数及び製材業に関わる人材の推移について。また、製材品の出荷量及びJAS規格材も含めた製材品の販路拡大に向けた取組みについて。
- ◇ 県内における子実用トウモロコシの作付状況について。また、作付に対する支援を継続・拡充していくことなど、支援の在り方を戦略的に検討していくべきと考えるがどうか。
- ◇ さくらんぼ高温対策緊急支援事業に対する生産者等の要望状況について。また、高温下におけるさくらんぼの安定生産に向け、当該支援を継続していくべきと考えるがどうか。
- ◇ 県内における大規模農家と小規模農家の割合について。また、本県農業の持続的な発展を図っていくためには、大規模農家だけでなく、家族経営などの小規模農家に対する支援も充実させていくべきと考えるがどうか。
- ◇ 中山間地に適した高品質な米の品種開発に対する県の考えについて。また、地球沸騰化と呼ばれる近年の猛暑の中、中山間地も含めたつや姫の栽培適地の調査検討が必要と考えるがどうか。